

工業標準等調査審議報告書（制定・改正）

制定・改正の別 改正

工業標準案(制定)・日本工業規格の改正案(改正)の番号及び名称

規格番号 JIS G0431

規格名称 鉄鋼製品の雇用主による非破壊試験技術者の資格付与

改正の場合、現行規格名称 鉄鋼製品の非破壊試験技術者の資格及び認証

[団体規格を基礎とした場合は団体規格番号及び名称]

主務大臣

経済産業大臣専管

制定・改正の内容等に関する事項

・制定・改正の必要性及び期待効果

この規格は、JISの鉄鋼の非破壊試験規格にも引用されており、日本の鉄鋼業界において本資格付与のシステムは浸透している。対応する国際規格との整合性を確保することにより、非破壊試験を実施した鉄鋼製品の品質保証内容が国際的に整合したものとなることから、日本の鉄鋼製品を広く国際社会に普及させることに寄与するものである。

・規定項目又は改正点

- 1) 規格名称に「認証」の用語が用いられてるが、第三者機関による証明以外に用いることができなくなっており、対応する国際規格とも合わせて「資格付与」に変更する。また、第三者機関によるものでなく、雇用主による資格付与であることを明示するものとする。
- 2) NDT方法のうち、電磁気探傷を国際規格に整合させ渦流探傷と漏洩磁束探傷に分割する。
- 3) 雇用主によるレベル3の資格を国際規格に整合させ削除する。これによってレベル3は、第三者機関による認証のみとする。
- 4) 渦流探傷及び漏洩磁束探傷の訓練時間を60時間から64時間に厳格化する。
- 5) NDT技術者の呼び名を国際規格に整合させてSNDTレベル1及びレベル2からNDTレベル1及びレベル2とする。

原案作成に関する事項

原案作成機関名 社団法人日本鉄鋼連盟

・原案作成区分

法12条による

・原案作成委員会の構成表及び開催状況

別紙参照

日本工業標準調査会の審議に関する事項

- ・ 部会名：標準部会（部会長：二瓶 好正）
- ・ 専門委員会：鉄鋼技術（専門委員長：木原 諄二）

・ 審議経過

WG 議決年月日 年 月 日
専門委員会議決年月日 年 月 日
部会議決年月日 年 月 日

- ・ 審議中問題となった点

国際流通への影響に関する事項

- ・ 対応する国際規格及びそれらの規格との整合性
国際規格番号 ISO 11484 : 2008 整合性 MOD
- ・ 既制定の類似・関連 JIS との関係
- ・ 関連する強制法規
無
- ・ 関連する公共調達基準
無
- ・ 工業所有権等知的財産権
無